

4. 福祉・医療・・・(1)地域医療連携体制

大阪府保健医療計画の概要

背景

- 高齢化の進展、疾病構造の変化、府民意識の変化に対応した医療提供体制の確保が必要
- 医療制度改革を通じ、将来にわたり持続可能な医療体制の整備が必要

医療計画とは

- 医療法において都道府県に計画策定を義務づけ
- これまでは医療圏の設定、基準病床数の算定など量的な規制や整備に重点

医療法改正による安全・安心で質の高い医療の確保

医療計画制度の見直し

- 4疾病と5事業を設定し、各事業ごとに医療連携体制を構築
 - 4疾病
 - がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病
 - 5事業
 - 救急医療、災害医療、周産期医療、小児救急を含む小児医療、へき地医療
- 医療機関の担う医療機能を明示
- 4疾病5事業において具体的な数値目標を設定
- Plan(計画)、Do(実施)、Check(評価)、Act(改善)サイクルによる継続的な管理を導入
- 医療費適正化計画や健康増進計画、介護保険事業支援計画などの関連計画と調和

量的(病床)規制から医療サービスの質的向上のための保健医療計画に転換

府保健医療計画の基本方針

- 医療連携が重要な4疾病4事業※と在宅医療の計画は医療圏ごとに策定
- 4疾病4事業において各医療機関が地域で担っている役割を明示
- 平成24年度に達成すべき数値目標を4疾病4事業において設定し、目指すべき目標を明確化
- 在宅医療を重視し、府民が必要とする在宅医療を提供するかかりつけ医に関する情報の入手先を明示
- 地域連携クリティカルパスの普及を図り、医療機関の連携を促進

※大阪府はへき地医療がないため

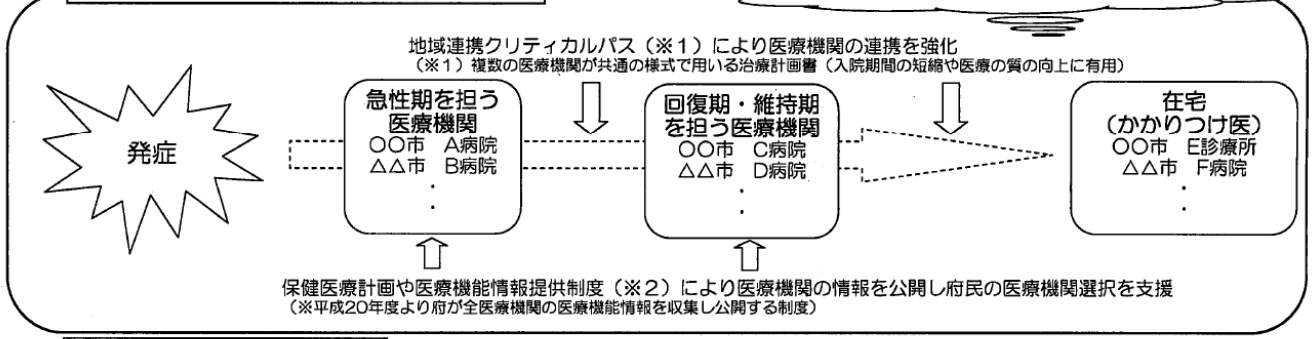
計画期間

平成20年度から24年度(22年度に中間評価を実施)

基準病床数

【療養+一般】			【精神】		
医療圏	基準病床数(新)	既存病床数(H19.10.1)	医療圏	基準病床数(新)	既存病床数(H19.10.1)
豊能	7,517	7,981	大阪府	16,512	19,217
三島	5,474	6,579	【結核】		
北河内	7,864	9,810	大阪府	814	1,061
中河内	5,418	6,086	【感染症】		
南河内	5,591	6,845	医療圏	基準病床数(新)	既存病床数(H19.10.1)
堺市	8,590	9,661	大阪府	78	78
泉州	6,985	8,860			
大阪市	22,148	33,434			
合計	69,587	89,256			

目指す医療連携体制のイメージ(ex.脳卒中)



4疾病4事業の数値目標

- 医療機能の分化と連携 目標：①医療機能情報公開率 病院 97.6%(H17年)→100%(H24年) 診療所 79.8%(H17年)→100%(H24年)
 - ②地域連携クリティカルパスを導入している病院の割合 2.7%(H18年)→15%(H24年)
- がん
 - ①がん年齢調整死亡率(75歳未満)の減少
 - ②すべてのがん患者及びその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上
- 脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病
 - ①メタボリックシンドローム予備群推定数 362千人(H20年)→検討中(H24年)
 - ②メタボリックシンドローム該当者推定数 1,061千人(H20年)→検討中(H24年)
 - ③特定健診受診率 63%(H18年)→検討中(H24年)
 - ④特定保健指導実施率 推計データなし→検討中(H24年)
 - ⑤脳卒中死亡率(人口10万対) 88.6(H20年)→検討中(H24年)
 - ⑥虚血性心疾患死亡率(人口10万対) 77.5(H20年)→検討中(H24年)
 - ⑦糖尿病予備群推定数 1,381千人(H20年)→検討中(H24年)
 - ⑧糖尿病有病者推定数 719千人(H20年)→検討中(H24年)
 - ⑨人工透析新規導入率(人口10万対) 12.5(H17年)→検討中(H24年)
- 救急医療
 - ①心停止目撃者による心肺蘇生(CPR)の実施割合 34.8%(H18年)→50.0%(H24年)
 - ②AEDを用いてCPRを実施した割合 0.95%(H18年)→7.0%(H24年)
- 災害医療
 - ①大阪DMAT養成数 11チーム(H19年)→51チーム(H24年)
 - ②災害マニュアルを整備している医療機関の割合 49.6%(H18年)→100%(H24年)
- 周産期医療
 - ①周産期母子医療センターの整備
 - 総合周産期母子医療センター 5ヶ所(H19年)→6ヶ所(H24年)
 - 地域周産期母子医療センター 12ヶ所(H19年)→14ヶ所(H24年)
 - ②MFICUの整備 34床(H18年)→177床(H24年)
- 小児救急を含む小児医療
 - ①小児初期救急広域拠点を含めての医療圏に整備(H19年度では3地域が未整備)

※生活習慣病の目標値はがん対策推進計画、健康増進計画で検討中 AED：自動体外式除細動器 DMAT：災害派遣医療チーム MFICU：母体・胎児集中治療室